

岩手県教育委員会



WEB フォトニュース



発行：岩手県教育委員会事務局教育企画室

令和8年3月

～ 教育委員会の令和7年4月から令和8年3月までの歩み～

■久慈翔北高等学校開校式が開催されました

4月8日(火)、久慈市文化会館(アンバーホール)において、高校再編計画に基づく久慈東高等学校と久慈工業高等学校の統合により、県内2校目の専門学科と総合学科の校舎制として開校した久慈翔北高等学校の開校式が行われました。

式典では、佐藤教育長が開校を宣言し、村山薫美校長を介して、校旗を生徒代表に授与しました。生徒代表挨拶では、野田校舎生徒会長3年の播星匠汰さんが「新設校の門出に立ち合い、感動と誇りを覚える。新しい学校には無限の可能性があり、全員で意見を出し合いながら学校の発展に努めていく」と述べました。両校のこれまでの歩みの中で培った輝かしい伝統と実績を礎に久慈翔北高等学校は開校しました。今後、県北地域の将来を担う専門教育の拠点として、特色ある教育のさらなる充実を図ります。



(開校式の様子)

■南昌みらい高等学校開校式が開催されました

4月9日(水)、盛岡市民文化ホールにおいて、高校再編計画に基づく盛岡南高等学校と不来方高等学校の統合により、普通科に文理・芸術・外国語・スポーツ科学の4つの学系を設け、新たに単位制を導入し、県内最大規模の県立高校として開校した南昌みらい高等学校の開校式が開催されました。

式典では、佐藤教育長が開校を宣言し、菊池勝彦校長を介して、校旗を生徒代表に授与しました。生徒代表挨拶では、盛岡南高校出身生徒会長3年の中村茉莉那さんが「両校の垣根を越えて新しい視点を得ることで、先輩方よりもさらに活躍できるように励む」と述べ、不来方高校出身生徒会長3年の加藤宏道さんが「両校の良さを継承しながら、学校の未来を創っていく誇りと責任を胸に、日々を精いっぱい楽しみ、学びの多いものにしたい」と述べました。

式典の最後には、音楽部による合唱で新たな校歌が披露され、地域の将来を担い、地域と共に歩む新しい時代に対応した学校として、新たな一歩を踏み出しました。



(開校式の様子)

■宮古水産高等学校創立130周年記念式典
並びに県立学校共同実習船りあす丸竣工
記念式典が行われました

5月18日(日)、宮古水産高校体育館において、県立宮古水産高等学校創立130周年記念式典が会場に盛大に挙行されました。式典において、伊東道夫校長は、「本校の歩んできた道は、我が国における水産教育の歴史そのものであり、水産業をはじめとする産業の振興、発展と共に歩んだ歴史でもある。諸先輩方の志を引き継ぎ、新たな歴史を築いていかなければならないことを心に刻んで欲しい。」と挨拶し、続いて、佐藤教育長は、「大海原を太陽や星を目指して航海する船のように、いかなる社会状況にあっても、目標とする高遠な理想を掲げ、日々の学業と実習に励み、しなやかな発想と逞しい心を養い、仲間とともに成長することを期待する」と激励しました。

創立記念式典後には、藤原埠頭において、県立学校共同実習船りあす丸竣工記念式典も挙行されました。



(創立130周年記念式典の様子)



(りあす丸竣工記念式典の様子)

■いわて高等教育地域連携プラットフォーム
令和7年度第1回全体会議が開催されました

7月8日(火)、サンセール盛岡において、いわて高等教育地域連携プラットフォーム令和7年度第1回全体会議が開催されました。「地域に貢献する優れた人材の育成と地域への還元」及び「高等教育機関が持つ専門性や特色がより一層生かされる地域づくり」を目指し、各ワーキンググループの取組事業と活動計画が報告され、産学官連携の具体化と推進、情報発信等について意見交換が行われました。

また、令和9年度以降のプラットフォームの新ビジョン策定についてのスケジュールが提示され、令和8年度末に確定予定であることが確認されました。



(課題別研究協議会の様子)

■不登校支援フォーラム2025が開催されました

7月18日(土)、サンセール盛岡において、県教育委員会とフリースクール等民間団体との連携を図る不登校児童生徒支援連絡会議の主催により、不登校支援フォーラム2025が開催されました。

不登校児童生徒の保護者の支援を目的としたもので、心理の視点から見た不登校の子どもへの関わり方に関する講演、本県の不登校施策の説明、校内外の教育支援センターやフリースクール等民間団体の取組発表が行われました。保護者やフリースクール等民間団体の関係者等220人が参加し、児童生徒一人一人に応じた多様な学びについて理解を深めました。



(講演の様子)



(セミナーの様子)

■第58回東北学校保健大会が本県で開催されました

8月7日(木)、盛岡市民文化ホール 盛岡地域交流センター(マリオス)において、第58回東北学校保健大会が開催されました。本県での開催は6年ぶりで、「生涯にわたり心身ともに健康でたくましく生きることのできる子どもを育成するため、学校保健、学校安全、食に関する指導に関連する課題について研究協議し、健康教育の充実発展に資する」ことを目的としたものであり、東北各県から関係者約450人が参集しました。

開会に先立ち、県立岩泉高等学校郷土芸能同好会による「中野七頭舞」が披露され、会場は大いに盛り上がりました。また、記念講演は、「児童生徒の健やかな体づくりに向けた食の重要性について」と題して、管理栄養士であり栄養教諭の松丸 奨 氏に御講演いただきました。さらに分科会では、4つの会場に分かれて、テーマごとに健康教育の今日的課題等について熱心に研究協議されました。



(大会の様子)



(中野七頭舞の披露)

■令和7年度雲南省教育交流推進事業 雲南省教育関係者訪問団が来県しました

8月27日(水)～8月28日(木)にかけて、雲南省教育関係者訪問団が県内の中学校・高等学校を訪問し、授業視察や生徒会交流会、職員等との意見交流を行いました。また、8月29日(金)には訪問団が県庁を訪れ、達増知事を表敬しました。

岩手県と中国雲南省は2013年に「友好交流協力協定」を結んでおり、達増知事からは「教育交流を通じてお互いの理解と交流が深まることを期待しています。」とお話いただきました。



(知事との集合写真)

■「Tryスポーツ」第22回岩手県特別支援学校スポーツ交流大会を開催しました

9月3日(水)、サンディスクスタジアムきたかみ(陸上競技場)・第1運動場・トヨタ紡織東北サンシャインアリーナ(総合体育館)を会場に、令和7年度「Tryスポーツ」第22回岩手県特別支援学校スポーツ交流大会を開催しました。爽やかな秋晴れの空の下、知的障がい特別支援学校高等部の生徒約540名が参加し、スローガン「挑戦は自分を変える」を胸に、陸上種目やフライングディスク、フロアボウリング等約12種目において日頃の練習の成果を存分に発揮しました。

なお、当日は競技補助員として花巻南高等学校スポーツ健康科学学系と南昌みらい高等学校スポーツ科学学系の生徒のみなさんに、競技ボランティアとして専修大学北上福祉教育専門学校福祉介護科の学生のみなさんにご協力いただきました。



(開会式の様子)



(競技(立ち幅跳び)の様子)

■いわて留学セミナーを開催しました

10月31日(金)、サンセール盛岡において、令和7年度いわて留学セミナーを開催しました。本セミナーは、いわて高校魅力化推進事業の一環として県教育

委員会が主催し、(一財)地域・教育魅力化プラットフォームとの共催によるものです。

県内市町村担当者や県立高校関係者などが参加し、地域と高校が連携して進める教育の魅力化について、実践的な事例紹介やパネルディスカッション等を通じて学びを深めました。

開会行事において、佐藤教育長は、関係者への謝辞と共に「いわて留学」の意義を強調しました。本事業は県外生徒に多様な成長機会を提供し、地域の活性化や地元生徒への刺激を生む重要施策です。今年度からは新たな国の交付金を活用し、官民協働で高校の魅力化を推進しています。



(セミナーの様子)

■令和7年度第1回文化財保護審議会を開催しました

9月5日(金)、盛岡地区合同庁舎において、文化財保護審議会を開催しました。本審議会は、文化財の保存活用に関する重要事項について審議し、並びにこれらの事項に関して教育委員会に建議することになっています。

県内の文化財保護を推進するため、教育委員会から有形民俗文化財1件、天然記念物(地質鉱物)1件の併せて2件を諮問し、いずれも答申されました。



(諮問書の手交)



(諮問案件に係る久慈地方の牛方関係資料)

■県立前沢高等学校が創立100周年を迎えました

11月8日(土)、前沢ふれあいセンターにおいて、県立前沢高等学校創立100周年記念式典が盛大に挙行されました。式典において、佐藤文子校長は、「百年の重みを受け継ぎ、新しい時代の扉を開いていくのは、まさに生徒一人ひとりである。自らの可能性を信じ、学びを志し、困難にも果敢に挑んでほしい。これからも本校は「地域と共にある学校」として、教育の質を高め、信頼される学び舎であり続けることを誓う。」と挨拶し、続いて、佐藤教育長は、「情報を取捨選択し、自ら考え、本物を見極める目を養ってほしい。継続すべきは何か、改革すべきは何かを見極め、新しい百年に向かって一歩ずつ歩み、新しい時代の担い手として大きく成長することを期待する」と激励しました。式典後には、記念芸術鑑賞会が開催され、花巻南高校ダンス部と前沢一輪車クラブが演技を披露しました。



(記念式典の様子)

■県立釜石祥雲支援学校が創立50周年を迎えました

11月8日(土)、釜石祥雲支援学校体育館において、創立50周年記念式典並びに記念学習発表会が約250名の出席のもと盛大に行われました。式典では安達史枝校長が、地域と共に歩んだ50年の歴史を振り返り、東日本大震災後の学校再開に尽力いただいた方々への感謝を伝えるとともに、「未来への希望を抱き、自立に向けた教育活動を教職員一丸で進め、『地域と共にある学校』を目指す」と決意を述べました。児童生徒代表挨拶では、高等部生徒会長が「地域のみなさんの協力で学びを深められることに感謝します」と心を込めて挨拶しました。



(式典の様子)

式典後の記念学習発表会では、「感謝を胸にみんなであつなごう～50年の歴史と友情を未来へ～」をテーマに、各学部が50周年への思いを込めた発表を行い、参観いただいた方々から温かい拍手と励ましの言葉をいただきました。



(学習発表会 小学部ステージ発表の様子)

■スーパーサイエンスハイスクール指定書授与式を実施しました

12月17日(水)、教育長室において、文部科学省が指定するスーパーサイエンスハイスクールの指定書授与式を行い、佐藤教育長から一関第一高等学校・附属中学校の三浦立校長へ指定書が授与されました。

一関第一高等学校・附属中学校は令和7年度からⅡ期目の指定を受けました。令和11年度までの5年間にわたり、研究開発課題である「探究的な学びを深化させるための教科教育とキャリア教育を連動させた中高一貫カリキュラムの開発」に取り組んでいます。



(指定書の授与)

■「いわて高校魅力化」PRアワードの表彰式を開催しました

12月17日(水)、WEB投稿サイト「note」を活用した県立高等学校の情報発信に係る、「いわて高校魅力化」PRアワードの表彰式を開催しました。

県立高等学校では、令和4年度から「note」を活用した情報発信に取り組んでおり、令和5年度からは、各校の情報発信を一層奨励することを目的として、「いわて高校魅力化」PRアワードを開催しています。

令和7年度は、宮古水産高校が大賞「教育長賞」を受賞し、佐藤教育長から賞状と特典のnote社オリジナルグッズが授与されました。



(表彰式の様子)

【各賞受賞校】

項目	受賞者
大賞「教育長賞」	宮古水産高等学校
以下、部門賞	
探究部門	一関第一高等学校
部活動部門	高田高等学校
クリエイティブ部門	花北青雲高等学校
生徒の声部門	大迫高等学校
フリーテーマ部門	大槌高等学校

★ 岩手県教育委員会「note」の二次元コードはこちら! ⇒



■岩手県災害時学校支援チーム「D-ESTいわて」チーム員認定式を実施しました

令和8年1月7日(水)、サンセール盛岡において、岩手県災害時学校支援チーム「D-ESTいわて」チーム員認定式を実施しました。このチームは、県内外で大規模災害等が発生した際に学校教育の早期再開を支援するために設置したものであり、防災や災害時の学校運営に係る研修を受講した教職員等で構成されています。

当日は、今年度計2回の研修を受講した68名がチーム員に認定されました。

認定式では、チーム員代表の釜石市立平田小学校の唐澤祥教諭が「有事の際には、県内外に派遣される強い覚悟のもと、現場のニーズに寄り添った臨機応変な支援をするとともに、平時の際には、校内における防災体制の整備やいわての復興教育の推進のために尽力できるように努めていきます。」と挨拶しました。

東日本大震災津波等の経験や教訓を生かしながら、子ども達の学びの場を早期確保するため、来年度も研修を通じてチーム員の増員やスキルアップ等に取り組んでいきます。

また、受賞者を代表して、盛岡第四高等学校3年の菊池晴太さんが挨拶をしました。



(代表者挨拶)



(研修の様子)



(記念撮影)



(チーム設立・チーム員認定式の様子)

【令和7年度第2回はばたき賞受賞者一覧】

受賞者	項目
花泉高等学校 3年 佐藤 章紀	善行
一戸町立一戸小学校 6年 田之岡 幸輝	奨励
滝沢市立鶴飼小学校 6年 佐藤 実咲	奨励
宮古市立山口小学校 5年 上野 杏華	奨励
一関市立黄海小学校 5年 太齊 優人	奨励
北上市立黒沢尻北小学校 合唱部	奨励
矢巾町立煙山小学校 吹奏楽部	奨励
岩泉町立釜津田小学校 釜津田自然愛護少年団	奨励
一戸町立一戸中学校 2年 北 謙信	奨励
盛岡市立城西中学校 3年 福田 瑞樹	奨励
雫石町立雫石中学校 2年 大村 和花子	奨励
盛岡市立上田中学校 3年 倉本 智珠	奨励
一戸町立一戸中学校 3年 柴田 優依、 釜谷 優里	奨励
盛岡市立黒石野中学校 特設駅伝部女子チーム	奨励
大船渡東高等学校 2年 木下 美玖	奨励
盛岡聴覚支援学校高等部 2年 高橋 結	奨励
花巻農業高等学校 2年 伊藤 愛菜	奨励
盛岡峰南高等支援学校 3年 三尾 祐太	奨励
盛岡視覚支援学校高等部専攻科 2年	奨励

■令和7年度第2回岩手県はばたき賞表彰式を開催しました

県教育委員会では、学校教育の一層の充実を図るため、本県の児童生徒等の他の模範となる行為や活動を表彰しています。

令和8年2月10日(火)、サンセール盛岡において今年度第2回目の表彰式を行い、善行表彰1個人、奨励表彰28個人、12団体の皆さんに佐藤教育長から表彰状と記念品を授与しました。表彰式では、受賞した皆さんに佐藤教育長から未来に向けて、これからの社会に大きくはばたき、一層の活躍とふるさと岩手の発展にも力を発揮してほしいと激励がありました。

佐々木 基樹	
盛岡視覚支援学校 高等部専攻科 2年 野村 宏昭	奨励
紫波総合高等学校 3年 吉田 翔哉	奨励
紫波総合高等学校 1年 川村 心輝	奨励
久慈拓陽支援学校 高等部 1年 下館 重仁	奨励
花巻北高等学校 3年 及川 謙香	奨励
一関学院高等学校 3年 森松 彩夢	奨励
盛岡第四高等学校 3年 菊池 晴太	奨励
沼宮内高等学校 3年 佐々木 大輝	奨励
沼宮内高等学校 3年 佐藤 優也	奨励
沼宮内高等学校 3年 藤原 悠真	奨励
宮古商工高等学校 3年 館下 苺采	奨励
宮古商工高等学校 2年 山屋 翔夢	奨励
杜陵高等学校 2年 小原 心葵	奨励
種市高等学校 3年 村上 慧	奨励
盛岡市立高等学校 1年 波紫 優奈	奨励
岩手高等学校 囲碁将棋部	奨励
卓球競技岩手県少年男子	奨励
盛岡第二高等学校 箏曲部	奨励
ホッケー競技岩手県少年男子	奨励
沼宮内高等学校 ホッケー部	奨励
盛岡第四高等学校 文芸部	奨励
盛岡第一高等学校 生物部	奨励

■60プラスプロジェクト推進事業実践交流会を開催しました

令和8年2月13日(金)、サンセール盛岡において、令和7年度「60(ロクマル)プラス」実践交流会を開催しました。

交流会の冒頭では、令和7年度のプロジェクトについて、児童生徒の「運動習慣」「食習慣」「生活習慣」の形成に向けて校内で一体的に取り組み、成果をあげた優良実践校18校の表彰を行いました。

交流会では、令和7年度の実践報告を行い、盛岡市立巻堀小学校と北上市立東陵中学校の取組を共有しました。また、熊本大学名誉教授の三池輝久先生から睡眠が健康に与える影響と望ましい生活習慣を形成することの意義等について講演をいただき、参加した各学校の今後の取組について意見交流を行いました。

参加者からは、「学校経営計画、学校保健計画に位置付けて、学校全体で取り組む体制づくりから始めることが大事だと感じた。」等の感想が寄せられ、子どもたちの健やかな体の育成に向けて、実り多い実践交流会となりました。



(「60(ロクマル)プラス」優良実践校表彰校の皆さん)

■岩手県調騎会騎手部会から「いわての学び希望基金」への寄附を頂きました

令和8年3月6日(金)、教育長室において、岩手県調騎会騎手部会の山本聡哉騎手から、『いわての学び希望基金』への寄附を頂きました。

同会には、平成23年の東日本大震災津波の発災直後から継続して御支援いただいています。



(贈呈式の様子)

「岩手県教育委員会WEBフォトニュース」に関する御意見・お問い合わせはこちらまで

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号 岩手県教育委員会事務局教育企画室

TEL:019-629-6106 FAX:019-629-6119 E-mail:DB0001@pref.iwate.jp